

2009. 11. 22 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2009年

<アラン・カページ著の「弟子の道」に沿って>

キリストの弟子 (10) 「弟子育成エキスパートのバルナバ」

テキスト：

「彼（バルナバ）はりっぱな人物で、聖霊と信仰に満ちている人であった。こうして、大ぜいの人が主に導かれた。」（使徒 11:24）

A. バルナバの生涯

- ・キプロス出身のレビ族で本名はヨセフ。ディアスポラとしての背景
- ・エルサレム近郊の不動産を売り、貧しい信徒達に寄付、寛大な性格の故に慰めの子（バルナバ）とあだ名される(4:36-37) 30年頃
- ・回心したパウロを教会に受け入れる仲介者(使徒 9:27) 36頃
- ・アンテオケに派遣され、長期奉仕(11:22)
- ・飢饉お見舞いにエルサレムへ(11:30) 45年
- ・サウロと共に第一伝道旅行(13:1) 46年
- ・カイザリヤで失敗(ガラテヤ 2:13) 48頃
- ・パウロと別れ、マルコと共にキプロスへ(15:36-39) 49頃
- ・パウロの同労者として高い評価を受ける(1コリント 9:6=56頃、コロサイ 4:10=60頃)

B. 弟子育成のエキスパートとしてのバルナバ

- ・仲間のための自己犠牲(4:36-37)：財産を捧げ、他人を励まし、慰める。あだ名の示す親密さ
- ・寛大さ：人々が恐れた人物の中にも、神の恵みの可能性を信じた(9:27)
- ・霊的識別力：アンテオケ信者の中に「神の恵みを見て」受け入れた。生来の包容的性格(ユダヤ的伝統とギリシャ文化の複合の中に育つ

- た)もそれに貢献したかもしれない
- ・ チームワーク：他の助けを求め、適材適所に彼らを嵌めて一緒に働いた(一匹狼ではない)
 - ・ 他人に委ねる信仰：海外宣教に行く時、アンテオケの働きを後輩の指導者に委ねた
 - ・ 勝れた人の下に立つ謙遜：パウロが力強く用いられた時、バルナバは背後に回った
 - ・ 牧会的配慮：脱落者マルコを擁護し、回復した

おわりに：バルナバの性格を示す3つの言葉・・・

- ・ 「良い」：神の性質の反映
- ・ 「聖霊に満たされた」：「聖い」神の霊に満たされ、支配され、きよめられていた
- ・ 「信仰に満ちた」：神への絶対的信頼

<テーマソング> 「弟子となし給え」(新聖歌 404)

- ① 弟子となし給え わが主よ わが主よ
 弟子となし給え わが主よ
 心の底より弟子となし給え わが主よ
- ② 愛を増し給え わが主よ わが主よ
 愛を増し給え わが主よ
 心の底より・・・
- ③ きよくなし給え わが主よわが主よ
- ④ 主をば倣いたし わが主よわが主よ